



NISHI EYE HOSPITAL

# 西眼科だより 第15巻2号

(季刊誌)

2013年5月発行

編集責任者：倉橋美雪

Nishi Eye Hospital

西眼科病院 〒537-0025 大阪府大阪市東成区中道 4-14-26 TEL: 06-6981-1132

〈ホームページ〉 <http://www.nishi-ganka.or.jp>



## 最先端 白内障手術

### フェムトセカンドレーザー白内障手術

フェムトセカンドレーザーを使用した白内障手術を導入しました。水晶体囊の前面を真円に切除する事が可能で、眼内レンズを水晶体囊の中心に移植でき、レンズの偏位や傾きを最小限にする事ができます。また水晶体の分割も可能で、超音波乳化のエネルギーを大幅に低減する事ができ、眼の負担が少ない方法です。より質の高い良好な視機能が得られます。日本では厚生労働省にまだ承認されておきませんので「自由診療」となります。

### (1)白内障プレミアムレンズ《老視矯正眼内レンズ》

#### ★多焦点(3重焦点)眼内レンズ tmlOL

現在ヨーロッパでは主流になりつつあるレンズです。遠近両用(2重焦点)の眼内レンズを更に進化させ、中間距離(50cm~1m程の距離)にもピントが合う多焦点眼内レンズ(3重焦点眼内レンズ)を導入しました。日本では厚生労働省にまだ承認されておきませんので「自由診療」となります。

#### ★多焦点(遠近両用)眼内レンズ mlOL

近くにも遠くにもピントが合う遠近両用(2重焦点)の眼内レンズです。当院で行う「多焦点(遠近両用)眼内レンズを用いた白内障手術」は「先進医療」として厚生労働省に承認されています。通常の単焦点眼内レンズと比べ、白内障手術後の生活におけるメガネの必要性が大きく減少します。多焦点眼内レンズの事をもっと知りたい方は当院スタッフまでお尋ねください。適応・費用の点も含めご説明します。またビデオ「白内障手術と眼内レンズ(約10分)」もご鑑賞いただけます。

通常の「単焦点眼内レンズ」か「多焦点(遠近両用)眼内レンズ」か、または「多焦点(3焦点眼内レンズ)」かを選択していただく事ができます。

## ★追加挿入型 多焦点(遠近両用)眼内レンズ Add-On

既に白内障手術を受けられ、従来の単焦点眼内レンズを挿入されている眼に、更にもう1枚 多焦点(遠近両用)眼内レンズ Add-On(ドイツ製)を追加挿入し、遠方近方両方に焦点が合うようにする事ができます。術前術後の診察・検査・手術代(レンズ代含む) Add-On に関わる治療代は全て「自費診療」となります。

## (2)白内障プレミアムレンズ 《トーリック眼内レンズ》

乱視を軽減できる「新しい眼内レンズ」です。手術後の裸眼視力が向上し、乱視用のメガネをかける必要性が少なくなります。

# 新しい緑内障手術

緑内障の眼圧低下を目的とした手術に用いられる「エクスプレス™ 緑内障フィルトレーションデバイス」の保険の適用が認められました。薬物治療やレーザー治療などの治療法では十分な眼圧下降が得られない患者さんに、新たな治療の選択肢をもたらすこととなります。「エクスプレス™ 緑内障フィルトレーションデバイス」は、房水流出経路の役割を果たす管(チューブ)として機能します。従来の方法より合併症を少なくする事ができ、より安全性の高い手術です。

# 屈折矯正手術

近視・遠視・乱視を矯正する方法として●眼内にレンズ(有水晶体眼内レンズ(Phakic IOL)を挿入する手術●エキシマレーザーを用いた(LASIK・Epi-LASIK・LASEK・PRK)手術があります。更にエキシマレーザーを用いた★白内障術後の左右屈折力の違いを改善する(タッチアップ)手術★角膜変性症や帯状角膜変性を治療、角膜混濁を除去する(PTK)手術があります。タッチアップ手術はメガネの装用が難などの患者さんに非常に良い結果が得られています。

当院では毎月〈LASIK 無料説明会〉を開催中です！

ご興味のある方は、ご家族・ご友人をお誘いのうえご参加ください。

6月1日(土)・7月6日(土)・8月3日(土)・9月7日(土)

《午前 11:00～(1 時間程) 西眼科病院 1F 飲み物(ドリンク)コーナーにて》